

吉屋 敬 の夢現世界

吉屋 敬 略歴

- 1963～65 文化学院でグラフィック・デザインを学ぶ
1965～70 オランダに留学。ハーグ市の王立美術大学とフリーアカデミーで学ぶ
1973～2012 オランダ、ベルギー、アメリカ、日本で展覧会活動
-

主な展覧会：(特別展、アートフェア出展等)

- 1973 ハーグ、フィリポーナ画廊での(故)ユリアナ女王の戴冠25周年記念肖像画展に招待出品。宮殿に招かれ24名の画家と共に女王をスケッチする。
- 1989 オランダ、リンブルフ州アルセン城での『日蘭現代美術展』に招待出品(アムステルダム在のゲート・ファウンデーション主催による)
- 1989 『吉屋 敬の夢現(むげん)世界展』を佐倉市民音楽ホールで特別企画展として開催(佐倉市・佐倉市教育委員会、佐倉日蘭協会主催)
- 1990 ラ・ポーラ画廊にて処女出版「楡の木の下で」の挿絵展
- 1993 和光ホール画廊(東京)にて個展。『ネーデルラント・夢』
- 1998 和光ホール画廊(東京)で個展。『ネーデルラント・花アイコン』
日蘭400友好400周年記念事業参加展。
(日蘭友好400周年記念財団、在日オランダ大使館等後援)
- 1999 ベルギー、ブラッセルの日本大使館カルチャーセンターにて個展
- 2000 『アート of 源泉＝詩』展開催(日蘭交流400周年 記念行事。詩人大岡信とのコラボ作品展。[アムステルフェーン市、日本大使館、400周年記念財団共催])
- 2001 オランダ芸術家協会『Arti et Amicitiae』の正会員に推挙(日本人初)。新会員展に招待出品。
- 2001 神戸ネザーランズセンターで『アート of 源泉＝詩』日本巡回展
- 2005 デルフト市フォスカイル画廊の『現代版画家展』に招待出品

- 2005 和光ホール画廊（日本）で個展『ネーデルラント・燦』開催
（滞蘭40周年記念展）
- 2006 デルフト市フォスカイル画廊でのアート・マニフェステーションに招待出品
- 2007 ボナール画廊（ブランチント州ニュネン）での三人展
- 2008 アートフェア『プリマヴェーラ』（ロッテルダム）にボナール画廊より出展
- 2009 デルフト市フォスカイル画廊のアート・マニフェステーションに出展
- 2009 千葉県佐倉市立美術館で開催された『佐倉・房総ゆかりの作家展』に
同館所蔵作品中から15作品が出展
- 2009 『吉屋 敬のニュー・ルネサンス』展がアムステルダム市ヘルフィンク・
ヒンローベン・ハイス美術館にて開催
- 2010 エントホーフェン市のアートフェアに招待出品（ボナール画廊より）
- 2011 アムステルダムのアートフェア『リエゾン』に出展（ボナール画廊より）
- 2011 ドレンテ州ライネン市のランカ画廊にて個展。
同時に東日本支援のため自作販売オークションを開催。その売り上げを
岩手県釜石市に義援金としてランカ画廊経由寄贈
- 2011～12 日本の『かさぎ画廊』（鎌倉）にてグループ展
- 2012 ニュー・ヨーク日本クラブ画廊にて「吉屋 敬のニュー・ルネサンス」展

- 著作： ★『楡の木の下で＝オランダで想うこと』（未来社）
★『母の秘蔵の絵』（未来社）
★『ネーデルラント絵画を読む』（未来社）
★『みずうみの家』（毎日新聞社）
★『青空の憂鬱＝ゴッホの全足跡を辿る旅』（評論社）、ほか共著。

その他の活動、所属団体等:

- ★武蔵野美術学園特別講師
- ★オランダ芸術家協会『Arti et Amicitiae』会員
- ★日本旅行作家協会会員
- ★『フォーラム K』主宰

Eメール KayYoshiya@msn.com

ホームページ <http://www.KayYoshiya.com>

制作中の作家 - Kay Yoshiya at work (2011)

